

○内閣府令第四号

火薬類取締法（昭和二十五年法律第四百十九号）第五十条の二第一項の規定により読み替えて適用される同法第十七条第一項、第二十四条第四項及び第二十五条第四項の規定に基づき、猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令を次のように定める。

令和七年一月二十四日

内閣総理大臣 石破 茂

猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令

猟銃用火薬類等の譲渡、譲受け、輸入及び消費に関する内閣府令（昭和四十一年総理府令第四十六号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分（「」で注記した項番号を含む。以下同じ。）に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）は、その標記部分が異なるものは改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正前欄に掲げる対象規

定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削る。

改正後	(無許可譲受数量) 第四条 法第十七条第一項第三号の規定による無許可で譲り受けることができる猟銃用火薬類等の数量は、登録若しくは鳥獣を捕獲することの許可の有効期間（当該許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証に記載されている有効期間）又は鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定により都道府県等が実施する指定管理鳥獣捕獲等事業の実施期間（当該事業を実施する都道府県等が法人の場合にあつては、指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証に記載されている実施期間）につき、無煙火薬若しくは黒色猟用火薬合計六百グラム以下、銃用雷管三百個（このうちライフル実包用雷管については五十個）以下又は実包三百個（このうちライフル実包については五十個）以下とする。
改正前	(無許可譲受数量) 第四条 法第十七条第一項第三号の規定による無許可で譲り受けることができる猟銃用火薬類等の数量は、登録若しくは鳥獣を捕獲することの許可の有効期間（当該許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証に記載されている有効期間）又は鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定により都道府県等が実施する指定管理鳥獣捕獲等事業の実施期間（当該事業を実施する都道府県等が法人の場合にあつては、指定管理鳥獣捕獲等事業従事者証に記載されている実施期間）につき、無煙火薬若しくは黒色猟用火薬合計六百グラム以下、銃用雷管三百個（このうちライフル銃用雷管については五十個）以下又は実包三百個（このうちライフル銃用実包については五十個）以下とする。

別記様式第2号（第3条関係）

銃銃用火薬類等譲受許可申請書

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用雷管	無煙火薬	黒色薬用火薬
	名称					
種類	数量	個	個	個	グラム	グラム
銃の種類及び適合実包（空包）	種類		適合実包（空包）			
現に保有している火薬類の数量						
許可証等の番号	第 号					
譲受目的	☐ 銃の所持許可証 ☐ 技能検定通知書 ☐ 教習資格認定証 ☐ 練習資格認定証 ☐ 銃の登録証					
譲受期間	年 月 日から 年 月 日まで					
貯蔵又は保管する場所						
消費計画	※火薬類の消費（購入）計画について、別紙を作成すること。					

備考 【削る。】

1. 現に保有している火薬類の数量欄には、許可申請時点において火薬庫外貯蔵している許可申請に係る火薬類の種類、名称（銃用雷管、無煙火

別記様式第1号（第2条関係）

銃銃用火薬類等譲渡許可申請書

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用雷管	無煙火薬	黒色薬用火薬
	名称					
種類	数量	個	個	個	グラム	グラム
譲渡目的						
譲渡期日（期間）	年 月 日（ 年 月 日から 年 月 日まで）					
譲渡の場所	銃の場所					
譲渡の住所	氏名					
譲渡の相手方	譲渡許可の有無					
	銃の種類適合実包（空包）	種類		適合実包（空包）		

備考 【削る。】

1. 譲渡期間は、1年を超えないこと。
2. 譲渡の相手方が火薬類の販売業者であるときは、その屋号又は商号も記載すること。
3. 譲渡許可の有無欄には、許可を受けているときは許可証の番号、許可を受けていないときはその理由を記載すること。
4. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別記様式第2号（第3条関係）

銃銃用火薬類等譲受許可申請書

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用雷管	無煙火薬	黒色薬用火薬
	名称					
種類	数量	個	個	個	グラム	グラム
銃の種類及び適合実包（空包）	種類		適合実包（空包）			
現に保有している火薬類の数量						
許可証等の番号	第 号					
譲受目的	☐ 銃の所持許可証 ☐ 技能検定通知書 ☐ 教習資格認定証 ☐ 練習資格認定証 ☐ 銃の登録証					
譲受期間	年 月 日から 年 月 日まで					
貯蔵又は保管する場所						
消費計画	※火薬類の消費（購入）計画について、別紙を作成すること。					

備考 1. 実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の銃銃用のものにあつてはその番径、ライフル銃用又は拳銃用のものにあつてはその名称を記載すること。

別記様式第1号（第2条関係）

銃銃用火薬類等譲渡許可申請書

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用雷管	無煙火薬	黒色薬用火薬
	名称					
種類	数量	個	個	個	グラム	グラム
譲渡目的						
譲渡期日（期間）	年 月 日（ 年 月 日から 年 月 日まで）					
譲渡の場所	銃の場所					
譲渡の住所	氏名					
譲渡の相手方	譲渡許可の有無					
	銃の種類適合実包（空包）	種類		適合実包（空包）		

備考 1. 実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の銃銃用のものにあつてはその番径、ライフル銃用又は拳銃用のものにあつてはその名称を記載すること。
2. 譲渡期間は、1年を超えないこと。
3. 譲渡の相手方が火薬類の販売業者であるときは、その屋号又は商号も記載すること。
4. 譲渡許可の有無欄には、許可を受けているときは許可証の番号、許可を受けていないときはその理由を記載すること。
5. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

備考 1 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
2 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
3 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
4 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
5 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

案及び黒色猟用火薬を除く。）及び数量を記載すること。
2 許可証等の番号欄には該当する許可証等の口内にレ印を記入し、当該許可証等の番号を記載すること。
3 譲受期間は、1 年を超えないこと。
4 この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証、技能検定通知書、教習資格認定証、練習資格認定証又は銃の登録証を提示すること。また、譲受目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
5 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

別紙

許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

備考 1 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
2 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
3 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
4 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
5 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 現に保有している火薬類の数量欄には、許可申請時点において火薬庫外貯蔵している許可申請に係る火薬類の種類、名称（銃用雷管、無煙火薬及び黒色猟用火薬を除く。）及び数量を記載すること。
3 許可証等の番号欄には該当する許可証等の口内にレ印を記入し、当該許可証等の番号を記載すること。
4 譲受期間は、1 年を超えないこと。
5 この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証、技能検定通知書、教習資格認定証、練習資格認定証又は銃の登録証を提示すること。また、譲受目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
6 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

備考 [削る。]

1. この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証又は銃の登録証を提示すること。また、輸入目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
2. この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とすること。

別記様式第7号（第9条関係）

銃銃用火薬類等輸入許可申請書 年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用雷管	無煙火薬	無色黒煙用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	グラム	グラム
	銃の種類及び適合実包（空包）	種類		適合実包（空包）		
	銃の所持許可証（登録証）の番号					
	輸入目的					
	輸入先					
	製造年月日	年 月 日				
	陸揚予定期日	年 月 日				
	陸揚予定地					
	貯蔵又は保管する場所					
	消費又は譲渡の予定期日（期間）	年 月 日 { 年 月 日から 年 月 日まで				

- 備考 1. 実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の銃銃用のものにあつてはその番径、ライフル銃用又は拳銃用のものにあつてはその名称を記載すること。
2. この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証又は銃の登録証を提示すること。また、輸入目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
3. この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とすること。

別記様式第7号（第9条関係）

銃銃用火薬類等輸入許可申請書 年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬類	種類	実包	空包	銃用雷管	無煙火薬	無色黒煙用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	グラム	グラム
	銃の種類及び適合実包（空包）	種類		適合実包（空包）		
	銃の所持許可証（登録証）の番号					
	輸入目的					
	輸入先					
	製造年月日	年 月 日				
	陸揚予定期日	年 月 日				
	陸揚予定地					
	貯蔵又は保管する場所					
	消費又は譲渡の予定期日（期間）	年 月 日 { 年 月 日から 年 月 日まで				

別記様式第9号（第10条関係）

銃銃用火薬類等輸入届

年 月 日

公安委員会殿

届出 人	住 所					
	ふりがな					
	氏 名					
	生 年 月 日	年 月 日				
	電 話 番 号					
火 薬	種 類	実 包	空 包	銃 用 雷 管	無 煙 火 薬	黒色無煙火薬
	名 称					
	数 量	個	個	個	グラム	グラム
輸 入 許 可 書	番 号					
	交 付 年 月 日	年 月 日				
積 載 船 名						
陸 揚 地						
陸 揚 日		年 月 日				
貯 蔵 又 は 保 管 す る 場 所						

備考 [削る。]
[1] この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

☐ 年 月 日 公安委員会に提出したものと同一。			
許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

備考 1 既に提出したものと内容に変更がない場合には、□内にレ印を記入し、当該計画書の提出日を記入すること。
2 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
3 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
4 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
5 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
6 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別記様式第9号（第10条関係）

銃銃用火薬類等輸入届

年 月 日

公安委員会殿

届出 人	住 所					
	ふりがな					
	氏 名					
	生 年 月 日	年 月 日				
	電 話 番 号					
火 薬	種 類	実 包	空 包	銃 用 雷 管	無 煙 火 薬	黒色無煙火薬
	名 称					
	数 量	個	個	個	グラム	グラム
輸 入 許 可 書	番 号					
	交 付 年 月 日	年 月 日				
積 載 船 名						
陸 揚 地						
陸 揚 日		年 月 日				
貯 蔵 又 は 保 管 す る 場 所						

備考 1 実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の銃銃用のものにあつてはその番径、ライフル銃用又は拳銃用のものにあつてはその名称を記載すること。
2 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

☐ 年 月 日 公安委員会に提出したものと同一。			
許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

備考 1 既に提出したものと内容に変更がない場合には、□内にレ印を記入し、当該計画書の提出日を記入すること。
2 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
3 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
4 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
5 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
6 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考 [削る。]

1. 許可証等の番号の欄については、該当する許可証等の口内にレ印を記入し、当該許可証等の番号を記載すること。
2. この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証、練習資格認定証又は銃の登録証を提示すること。また、消費目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
3. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別記様式第10号（第11条関係）

猟銃用火薬類等消費許可申請書

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬名	種類	実包	空包	総消費量	練習火薬	黒色薬用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	グラム	グラム
銃の種類及び適合実包（空包）		種類		適合実包（空包）		
許可証等の番号		☐ 銃の所持許可証 ☐ 練習資格認定証 ☐ 銃の登録証 第 号				
消費目的						
消費計画 ※火薬類の消費（購入）計画書について、別紙を作成すること。						
消費期日（期間）		年 月 日 { 年 月 日から 年 月 日まで				
特に無許可消費数量を超えて消費する理由及び危険予防の方法						

備考

1. 実包欄及び空包欄には、ライフル銃以外の猟銃用のものにあつてはその番径、ライフル銃用又は準銃用のものにあつてはその名称を記載すること。
2. 許可証等の番号の欄については、該当する許可証等の口内にレ印を記入し、当該許可証等の番号を記載すること。
3. この申請書の提出に際しては、銃の所持許可証、練習資格認定証又は銃の登録証を提示すること。また、消費目的が鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定による銃猟であるときは、同法の第一種銃猟狩猟者登録証又は許可証（許可を受けた者が法人の場合にあつては、従事者証）を併せて提示すること。
4. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別記様式第10号（第11条関係）

猟銃用火薬類等消費許可申請書

年 月 日

公安委員会殿

申請人	住所					
	ふりがな					
	氏名					
	生年月日	年 月 日				
	電話番号					
火薬名	種類	実包	空包	総消費量	練習火薬	黒色薬用火薬
	名称					
	数量	個	個	個	グラム	グラム
銃の種類及び適合実包（空包）		種類		適合実包（空包）		
許可証等の番号		☐ 銃の所持許可証 ☐ 練習資格認定証 ☐ 銃の登録証 第 号				
消費目的						
消費計画 ※火薬類の消費（購入）計画書について、別紙を作成すること。						
消費期日（期間）		年 月 日 { 年 月 日から 年 月 日まで				
特に無許可消費数量を超えて消費する理由及び危険予防の方法						

備考

表中の「」の記載は注記である。

別紙

☐ 年 月 日 公安委員会に提出したものと同一。			
許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

備考 1 既に提出したものと内容に変更がない場合には、□内にレ印を記入し、当該計画書の提出日を記入すること。
2 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
3 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
4 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
5 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
6 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別紙

☐ 年 月 日 公安委員会に提出したものと同一。			
許可申請に係る種類の火薬類の消費（購入）計画			
予定時期	予定数量	予定場所	備 考

備考 1 既に提出したものと内容に変更がない場合には、□内にレ印を記入し、当該計画書の提出日を記入すること。
2 予定時期欄には、許可申請に係る火薬類の消費又は購入の予定時期を記載すること。
3 予定数量欄には、消費又は購入する予定の火薬類の種類及び数量並びにその事由を記載すること。
4 予定場所欄には、消費又は購入する指定射撃場、銃砲店等の名称その他消費又は購入することとなる場所を記載すること。
5 備考欄には、無許可製造、無許可消費その他消費又は購入することとなる理由を記載すること。
6 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

附 則

（施行期日）

第一条 この府令は、銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律（令和六年法律第四十八号）の施行の日（令和七年三月一日）から施行する。

（様式に関する経過措置）

第二条 この府令による改正前の様式（次項において「旧様式」という。）により使用されている書類は、当分の間、この府令による改正後の様式によるものとみなす。

2 旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。